

農林水産大臣

赤松 広隆 様

有明海再生の早期実現を求める要請書

平成21年10月22日

佐賀県

有明海再生の早期実現を求める要請書

有明海は、日本一広大な干潟を有する内湾であり、ムツゴロウ等の貴重な種をはじめ多種多様な生物が生息しています。さらに、国内最大のノリ漁場を形成するなど、漁業者をはじめ県民にとって「宝の海」であります。

しかしながら、近年、流況の変化、底質の悪化、赤潮の多発、貧酸素水塊の発生など、漁場環境が悪化したことで、有明海の漁業は極めて深刻な状況にあります。

ノリ養殖については、平成12年のノリの大不作の後、漁業者の必死の努力と気象条件に恵まれたことなどもあり、何とか安定した生産状況になってきていたものの、本年初めには、有明海湾奥部で赤潮が発生し、ノリの色落ちが発生するなど不安定な状況にあります。

また、アゲマキ、タイラギ等の二枚貝類は、資源量が大幅に減少したまま回復せず、漁船漁業を営む漁家の経営状況は、後継者問題も含め深刻な状況が続いています。

そこで、漁業者のみならず、県民の願いであります、一日も早い有明海再生のために、次のことを要請します。

1 開門調査の早期実施について

有明海の再生に向けて、有明海の環境変化の原因を究明し、有明海全体としての環境改善の方策を講ずるため、一日も早く、開門調査を実施すること。

2 農業生産、背後地防災等の対策について

一日も早い開門調査を実現するために、農業生産、背後地防災等への影響の回避・低減措置を早急に検討し、万全の対策を講ずること。

平成21年10月22日

佐賀県知事

古川



康